

令和8年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 農業研究本部
畜産試験場

I 気 象 概 況

9月下旬：平均気温は15.5℃（平年差+1.0℃）で平年よりやや高かった。降水量は9.0mm（平年比20％）で平年よりかなり少なかった。日照時間は66.6時間（平年比126％）で平年よりやや多かった。

10月上旬：平均気温は13.9℃（平年差+1.2℃）で平年よりやや高かった。降水量は18.0mm（平年比35％）で平年よりやや少なかった。日照時間は70.8時間（平年比149％）で平年よりかなり多かった。

10月中旬：平均気温は12.6℃（平年差+3.1℃）で平年よりかなり高かった。降水量は19.0mm（平年比65％）、日照時間は51.6時間（平年比96％）でともに平年並であった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。

	9月下旬			10月上旬			10月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温（℃）	15.5	14.5	1.0	13.9	12.7	1.2	12.6	9.5	3.1
最高気温（℃）	21.4	20.0	1.4	19.2	17.9	1.3	17.5	14.7	2.8
最低気温（℃）	10.2	9.3	0.9	7.8	7.7	0.1	8.4	4.1	4.3
降 水 量（mm）	9.0	45.7	△36.7	18.0	51.9	△33.9	19.0	29.2	△10.2
降水日数（日）	1.0	3.5	△2.5	4.0	5.3	△1.3	2.0	3.9	△1.9
日照時間（時間）	66.6	52.8	13.8	70.8	47.6	23.2	51.6	54.0	△2.4

注1．各数値は旬の平均または合計。△印は減を示す。

注2．平年値は前10か年の平均値。

Ⅱ 作 況

1. 牧草 採草型チモシー

3 番草作況 : 良
1～3 番草通算作況 : 平年並

事 由 :

<3 番草>

3 番草の刈取りは平年より 3 日早い 10 月 7 日に行った。収穫時の草丈は 2 年目草地で 67cm と平年より 13cm 高く、3 年目草地で 64cm と平年より 17cm 高かった。乾物収量の平年比は 2 年目草地で 110%、3 年目草地で 135%、2～3 年目草地の平均では 121%であった。2 年目草地については、前年 5 月 13 日に播種したものの高温の影響により定着しなかったため、平年よりも 103 日遅い 8 月 22 日に再播種を行った。このため、個体サイズが平年と比べ小さく、1 番草の収量が 3 年目草地より少なかった。これらを踏まえ、2 年目草地は参考値とし、作況の判断は 3 年目草地に基づいて行うものとする。

以上のことから、3 番草の作況は「良」である。

<1～3 番草合計>

1～3 番草合計の乾物収量は、2 年目草地で 995.5kg/10a（平年比 92%）、3 年目草地で 1,006.7kg/10a（平年比 100%）、2～3 年目草地の平均では 1,016.4kg/10a（平年比 96%）であった。作況の判断は、3 番草の作況同様に、3 年目草地に基づいて行うものとする。

以上のことから、1～3 番草合計の作況は「平年並」である。

調査項目	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
3番草収穫日(月・日)	10.7	10.10	△ 3	10.7	10.10	△ 3
生育日数 (日)	70	67	3	70	67	3
収穫時草丈 (cm)	67	55	13	64	47	17
生草収量 (kg/10a)	689	914	△ 225	771	746	25
乾物率 (%)	32.0	21.9	10.1	30.2	23.3	6.8
乾物収量 (kg/10a)	220.3	200.6	19.7	232.4	172.1	60.3
同上平年比 (%)	110	100	10	135	100	35
1～3番草合計						
乾物収量 (kg/10a)	995.5	1,081.2	△ 85.7	1,006.7	1003.3	3.4
同上平年比 (%)	92	100	△ 8	100	100	0

注 1) 平年値は2年目草地が前7カ年のうち最豊年(令和2年)及び最凶年(令和1年)を除く5カ年の平均値、
3年目草地は前7カ年のうち最豊年(令和2年)及び最凶年(令和1年)を除く5カ年の平均値。

2) △は減または早を示す。

2. サイレージ用とうもろこし

作 況：平年並

事 由：

播種期は平年より4日早い5月12日、発芽期は平年より4日早い5月22日であった。初期生育は良好で、7月の草丈は253cmで、平年より37cm高く、順調な生育が認められた。絹糸抽出期は7月22日で平年より3日、雄穂開花期は7月24日で平年より3日早かった。8月の稈長は250cmで、平年より3cm高かった。収穫期は平年より6日遅い9月18日、収穫時の熟度は平年より進んだ黄熟後期であった。生草収量は茎葉、総体は平年値を上回ったが、雌穂ではやや下回った。総体乾物率は平年より0.9ポイント高く、最終的に、雌穂および総体の乾物収量、並びに推定TDN収量は、それぞれ平年比で105、100および104%であった。

以上のことから、本年の作況は「平年並」である。

項 目	本年	平年	比較	平年比(%)
播種期(月・日)	5.12	5.16	△ 4	—
発芽期(月・日)	5.22	5.26	△ 4	—
草丈 (cm)	6月20日 44	39	5	—
	7月20日 253	216	37	—
稈長 (cm)	8月20日 250	247	3	—
	6月20日 6.8	6.6	0.2	—
葉数 (枚)	7月20日 14.7	14.8	△ 0.1	—
	8月20日 16.7	16.6	0.1	—
雄穂開花期(月・日)	7.24	7.27	△ 3	—
絹糸抽出期(月・日)	7.22	7.25	△ 3	—
収穫期(月・日)	9.18	9.12	6	—
収穫時熟度	黄後	黄初-黄中	—	—
総体生草収量 (kg/10a)	5,788	5,737	51	101
総体乾物収量 (kg/10a)	1,725	1,650	75	105
雌穂乾物収量 (kg/10a)	895	894	1	100
乾雌穂重割合 (%)	51.9	54.0	△ 2.1	—
総体乾物率 (%)	29.8	28.9	0.9	—
推定TDN収量 (kg/10a)	1,245	1,200	45	104

注 1) 平年値は前7カ年のうち最豊年(令和2年)と最凶年(令和1年)を除く5カ年の平均値。

2) △は早または減を示す。

3) 供試品種は「KD320」。